

「自由の国」最古の名門オーケストラ!
ニューヨーカーが世界に誇るエネルギーで洗練されたサウンド



CREDIT SUISSE
Global Sponsor

ニューヨーク・ フィルハーモニック

NEW YORK PHILHARMONIC



2014年2月10日(月)
19:00(18:00開場)

アラン・ギルバート(指揮)
Alan Gilbert, *Conductor*

ザ・シンフォニーホール(大阪)

Monday, February 10, 2014 at 7 p.m. The Symphony Hall

ブリテン: 青少年のための管弦楽入門
Britten: The Young Person's Guide to the Orchestra
ガーシュウィン: ラプソディ・イン・ブルー
Gershwin: Rhapsody in Blue
チャイコフスキー: 交響曲第5番 ホ短調 op.64
Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor op.64

プラチナ¥34,000 A¥28,000 B¥24,000
C¥19,000 D¥14,000
(プラチナの取り扱いがABCチケットセンターのみ)(消費税込)

主催: KAJIMOTO/ザ・シンフォニーホール/朝日放送 後援: アメリカ合衆国大使館

小曽根 真(ピアノ)
Makoto Ozone, *Piano*

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス 検索 <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

ザ・シンフォニーホールのホームページ
<http://asahi.co.jp/symphony/>

■お問い合わせ
ABCチケットセンター 06-6453-6000

■前売場所
ABCチケットセンター(2013年12月末まで) 06-6453-6000
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 200-086)
ローソンチケット 0570-000-407(Lコード: 52129)
CNプレイガイド 0570-08-9990
アスクプレイガイド 06-6222-1145
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン・携帯)
twitter @kajimoto_News
f <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 6/23(日) 10:00~



4年ぶりの来日公演—— 他に類をみない華やかな演奏に心が弾む

都市の魅力とは、そこに愛と罪、栄華と挫折、喧騒と静寂がすべて同居している点にあるのだろう。そして都市の魅力を語る時、誰もが脳内に思い浮かべているのは、けっして東京でもパリでもなくニューヨークに違いない。その街を代表するオーケストラであるニューヨーク・フィルハーモニック。輝かしい歴史を持つだけでなく、常にチャレンジングな変化を求め、そして世界の第一線であり続けているオーケストラの姿は、まさにニューヨークという街そのものと重なる。

俊英アラン・ギルバートを音楽監督に迎えてからも、その歩みは停滞していない。今回の4年ぶりの来日公演で、それがよく分かるはずだ。メインにはチャイコフスキーの重厚な「交響曲第5番」を据え、この日本公演が初共演となるジャズピアニスト・小曽根真を迎えてのガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」。華やかで、同時に新鮮な演奏になるだろう。月並みだがウッディ・アレンの映画「マンハッタン」(あのゴードン・ウィリスの素晴らしいモノクローム・カメラが捉えたニューヨークの風景が忘れられない)の冒頭シーンに「ラブソディ・イン・ブルー」が使われていた事をご記憶の方も多いただろう。

そして今年生誕100周年を迎えたイギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテン(1913～1976)の「青少年のための管弦楽入門」が、コンサート冒頭を飾る。イギリス・ルネサンス期の作曲家パーセルの主題を使った様々な変奏曲と壮大なフーガは、オーケストラ音楽の醍醐味を教えてくれる傑作。まさに緻密でスケールの大きな音楽作りを心がける指揮者ギルバートならではのプログラミングが、ニューヨーク・フィルハーモニックの多様な魅力を引き出してくれるだろう。

片桐 卓也(音楽ライター)

ニューヨーク・フィルハーモニック New York Philharmonic



©Chris Lee

1842年創立。アメリカ最古、世界的にも最も古く指折りの実力をもつオーケストラのひとつ。2010年5月には世界的にも類を見ない15000回目の公演を行った。音楽監督はパーンスタイン、ブーレーズ、メータ、マズア、マゼールといった錚々たる面々を経て、2009年からアラン・ギルバートがこの地位にあり、バイタリティある伝統のサウンドに緻密さを加えている。メディアにおける革新的な功績や、「ヤング・ピープルズ・コンサート」などによる教育プログラムもまた、この楽団の重要な伝統である。

アラン・ギルバート(指揮)

Alan Gilbert, *Conductor*



©Chris Lee

2009年からニューヨーク・フィル音楽監督。生粋のニュー Yorker がこの任にあるのは史上初。長期のフェスティバルや現代音楽のシリーズ「コンタクトI」を実現させ、2012/13年シーズンにはいくつかの作品の世界初演、ブラームスの作品シリーズを推し進め、「ニールセン・プロジェクト」も行っている。ギルバートの厳しいトレーニングにより楽団は大きなクオリティ・アップを果たし、昨年秋に2016-17年まで監督契約を延長した。ストックホルム・フィル桂冠指揮者、ハンブルク北ドイツ放送響の首席客演指揮者を務めるほか、ベルリン・フィルなど世界中の一流の楽団にも数多く客演。

小曽根 真(ピアノ)

Makoto Ozone, *Piano*



©橋山紀信

1983年、パークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年カーネギーホールでリサイタルを開き、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で世界デビュー。2003年にはG.パートンとのデュオ「ヴァーチュオージ」がグラミー賞ノミネート。近年はクラシックにも取り組み、国内外の主要オーケストラと共演。また演劇や映画音楽の作曲など、多彩な才能を発揮し国内外の舞台で活躍中。